

市内の小・中学校で英語を教えているA・L・T（外国語指導助手）の皆さんが、久慈で生活して感じてきたことなどを紹介するコーナーです。

## My life in Kuji



**ダコタ・ディベイツ** さん  
インディアナ州・25歳 / 長内小、宇部小、長内中、宇部中、山形地区の小中学校を担当

### 子どものころから読書が大好き！

前回に引き続き、私のおすすめの本を紹介します。

#### ① Great Goddesses: Life lessons from Myths and Monsters by Nikita Gill

(偉大な女神たち：神話と怪物から学ぶ人生の教訓/ニキータ・ギル)

私は詩が大好き。この詩集を読んで、すぐに夢中になりました。ギルは、古代の物語を再考し、現代のフェミニストの解釈を加えています。お気に入りの詩の一部は「自分自身のオデッセイにだってなれるのに、忘れられた詩人の本に書かれたような未完成の詩になるなんて」

#### ② アラバマ物語 /ハーパー・リー

高校の英語の授業で教材として読んだ本で、何度も読み返したくなる名作。舞台は大恐慌時代の田舎町。主人公の父親が、法廷で黒人をかばい、意図的に町民たちと反対の立場をとることを通して、人権や正義に対する考え方を探っていきます。今の時代にも通じるものであり、アメリカにおける人種的不平等について、描いた一冊です。

市民

## センターだより

宇部市民センター  
☎56-2706



### 宇部市民センター事業紹介 みそ造り体験教室

今ではほとんどの人がお店で買うみそですが、昔は各家庭で、手間も時間もたくさんかけてみそを造っていました。「天然醸造のみそは大豆のうま味をじかに味わうことができ、菌が生きていっているので健康にも良い。時間がたてばたつ程うま味が増し、何より自分で仕込んだみそで作るみそ汁は格別。市民センターの事業として実施しては？」と町民からアイデアをいただき、みそ造り体験教室を企画しました。

開催日は、2月5日。発案者の推薦で軽米町にある大黒醤油株式会社を訪問し、同社長直伝の「自宅でもできる一番シンプルなみその仕込み方」という内容で、こうじ、米、大豆の重量配分、足を使って大豆をつぶすなどの工程を学びました。みそ造りを体験できる機会は貴重で、この体験を通してみその仕込み方はもちろんのこと、食の生産や加工と関わる人の苦勞など、いにしえの人々へも感謝の気持ちを持つことができる有意義な事業となりました。



認定証を掲げる鹿糠勇会長（前列右）、八屋勉事務局長（左）佐々木のみ子次長（後列右）、大久保勝男次長（後列左）

Name

## 小久慈まちづくり協議会

会長 鹿糠勇 (75)

### 元気なコミュニティ特選団体とは

平成24年度から、岩手県知事が認定している、人口減少・少子高齢化に向き合い、地域力の強化に取り組む県内のモデルとなる団体。市では、これまでに13団体が認定されています。

## きらり人輝く

地域力の強化に取り組み  
モデル団体に認定された自治会

### 自慢できる地区を目指して

本年度「元気なコミュニティ特選団体」として認定された小久慈まちづくり協議会。小久慈町内の全13町内会をまとめる協議会の鹿糠勇会長にこれまでの地域活動などの話を聞きました。

#### ■これまでの活動について

地域の先輩達が行ってきた活動を、小久慈町全体で一丸となり実施していこうと、平成20年に協議会を結成しました。協議会メンバーに加え、市職員や集落支援員も参加する事務局会議を毎週開催しており、定期的に事業の企画や進捗報告を行う役員会も開催しています。コロナ禍で、これまで実施してきた文化祭や敬老会、町民運動会の三大事業の開催ができずにいますが、ふるさと未来づくり事業をきっかけに有志が集まった「朝市チーム」と協力して「小久慈朝市」も開催するなど、新たな取り組みも行っています。また、避難所サポーター制度を立ち上げ、避難所設営訓練を行うなど、災害時に備える活動をしています。

#### ■活動を通して感じること

地域の皆さんと一緒に取り組む中で、多くの会話が生まれ、コミュニケーションをとれることが喜びです。コロナ禍で、話をできる機会が減りましたが、少ない活動の中でも「やってくれてありがとう」と声を掛けてもらえることがやりがいになっています。

#### ■これからの抱負

これまで以上に地域の皆さんに楽しんでもらえる活動をしていければと考えています。世間話をしたり、一緒に一つのことに取り組んだり、楽しいからこそ活動を続けていられると感じます。

結成から13年。これからも活力ある小久慈町を目指して、地域の皆さんと一緒に活動に取り組んでいます。

## 集落支援 コーディネーター OBつうしん

**大内田 睦美** さん  
(おおうちだ・むつみ 34歳)

2018年着任。夏井町出身。2020年退任。現在は市内障がい者施設に勤務



### 運営側から参加者へ

こんにちは。卯年生まれの大内田です。

現在は、市内の障がい者施設に勤務しています。また、個人的に、昨年は夏井町一日市場（川代地区大かぼちゃ祭り）や、小久慈朝市に客として参加させていただきました。私の立場は運営側から参加者側へと変わりましたが、どんどんパワーアップしていく皆さんの姿が見られたり、変わらず受け入れてくださることを大変うれしく思っています。

また、夏井町未来づくり広場で開催されるワークショップに参加して交流も重ねています。現在は、防災公園を活用したイベントを検討中で、健康ウォーキング、たこ揚げ大会、防災コンテストなどの意見が出ています。中高生の参加者から若いエキスをもらって面白いアイデアも活発です！話し合いが遅々として進まない状況が続いていますが、いずれ形に出来るだろうと見ています。

●集落支援コーディネーター…ふるさと未来づくり事業を通じ、住民が地域の現状と問題を自らの課題として捉えることや課題解決に向けた地域の取組みを支援。幅広い住民の声を市に届けることで、市の地域活性化策を推進し、住民と行政の協働のもと集落の維持や活性化を図っています。

## 集まれ！ 元気の輪

### すいれん

代表：田老 イト さん  
活動場所：長内市民センター ☎52-7400  
活動日：毎週火曜日 10時～12時

呼吸を整えヨガのポーズ。換気で窓を開けていても、体がポカポカしてきます



ヨガのポーズで記念撮影

すいれんは、結成から40年以上続いているヨガサークルで、毎週火曜日に活動を行っています。腹式呼吸でゆっくり体を伸ばすことで、柔軟性や体幹が鍛えられます。ヨガのほかストレッチやスクワットを取り入れ筋力アップ。自分の体と対話しながら行うので、無理せず自分に合わせた動きができます。コロナ禍で外出もままならない中、サークル活動で体を動かし、みんなと笑顔で話をするのも楽しみの一つです。

メンバーは随時募集中。私たちと一緒に心と体のリフレッシュをしませんか。